



喜界高だより

校訓

自主自立
開拓創造
公德奉仕

鹿児島県立喜界高等学校

電話 (0997) 65-0024

〒891-6201 鹿児島県大島郡喜界町赤連 2536 FAX (0997) 65-0217

ホームページアドレス <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kikai>

今、コロナウィルスは私達の生活を一変させている。学校現場も例外ではない。リモート授業等、最新の技術を駆使した教育が標準化するのもそう遠い未来ではないかもしれない。教育現場はこれまでも、教育課程や指導方法、大学入試など、時代の変化に合わせて改革をしてきた。もし、これらがうまくいっているとしたら、近年の生徒達の学力や生きる力が以前の生徒達と比べてさぞかし高いものになっているはずだが、残念ながらそのようなにはなっていない。



「上すべりする現代
見失われる本質」

教師 大倉 秀 心

その原因の一つは、生徒達が「脳ミソに汗をかいていない」ことにあります。私は思う。箱根駅伝の選手が襷を無事に繋ぎ終えたあと、ぱったりと路上に倒れ込み、持っている体力を使い果たしている様子をよく見るだろう。授業でも同じことで、脳をフル回転させて、英語の単語を一日五十語暗記したり、解けなかった数学の問題を演習によって解けるようにしたり、元素記号や商業の専門用語を全て正確に覚えたりすることは、「脳ミソに汗をかき」ながら自分の限界を少しずつ伸ばしていることに等しい。この段階を飛ばして最新の教材や指導法を用いた授業を受けても、大きな効果を望めないのは当然だ。基礎的な知識すらない生徒同士が「対話的学び」をしたところで、予習も復習もせずにただ受動的に受けている対面授業を「遠隔授業」にしたところで、生徒本人の能力が向上するはずはない。

学びの本質は、手段や方法論にはない。昨日使えなかった英単語を今日は使える、昨日解けなかった二次関数が今日は解ける、昨日知らなかった歴史的事象の発生過程を今日は知っている。このような変化こそが学びの本

質だ。地道な努力で昨日の自分から少し成長した今日の自分は、見える景色が違ってくる。例えば、自転車に乗れるようになるだけで、行動範囲やできる経験は大きく広がる。それと同じことだ。自転車に乗れなければ、気軽にスギラビビーチにすら行けないだろう。

養老孟司氏は著書『バカの壁』の中で、「知る」ということを「がんの告知」に例えた。自分がかんで余命三ヶ月と知り、眺める桜の花が例年と違って美しく見える。これは桜がいつもと違っているということか。いや、違う。来年は生きたれないということこそ「知った」自分が変化して、同じ桜が違って見えるのだと。

さて、今、喜界高校生は「脳ミソに汗をかいて」いるか。昨日の自分から成長させる努力をしているか。普通科から商業科か、進学か就職かはこの話には全く関係がない。学業は進学だけに必要なものではない。考える力のない者は、仕事場でも使い物にならない。目まぐるしく変化する時代に惑わされることなく、「愚直」に学べる舞台を喜界高校は提供する。そこでの行動の仕方ひとつで生徒諸君の未来は大きく変わる。将来、自分らしく幸福に生きられるかどうかは、自分の頭でことごとん考える経験を積んだかどうかで決まる。貴重な青春時代をただ漫然と過ごした者は、人々にいいように使われて一生を終えてしまうだろう。

最後に、私の好きな言葉を贈って終わりたいと思う。

「Learn to live and live to learn.」
(生きるために学べ。そして学ぶために生きよ。)

3学期の主な行事(予定)											
1月											
8日(金)	始業式・課題実力考査										
12日(火)	課題実力考査										
16日(土)	大学入学共通テスト										
26日(火)	卒業考査										
2月											
1日(月)	3年生自宅学習期間										
4日(木)	中高一貫教育校 入学者選抜										
16日(火)	学年末考査										
19日(金)											
26日(金)	表彰式・同窓会入会式										
3月											
1日(月)	第71回卒業式										
25日(木)	修了式・離任式										



生徒指導部より

携帯電話やインターネットの安全な利用について改めて考えよう

インターネット利用等
実態調査集計結果より

インターネット接続機器の所持(家族共用を含む)は97%で、自
分専用の携帯電話の所持率が97%
という結果でした(そのうちスマ
ートフォンの所持者が96%)。以
下のグラフで示した結果は、今後
各ご家庭で話し合うきっかけとし
てほしいです。

決めていない
33%

決めていない
67%

家庭内
ルール
設定

設定している
48%

設定していない
12%

フィルタリング
設定者

5h以上
4h~5h
3h~4h

5%
6%
16%

30m未満
30m~1h

5%
9%

一日の
平均利用
時間

長時間利用
していると
感じている
46%

利用で睡眠不足を感じている
12%

利用で勉強に
集中できない
ことがある
6%

携帯電話等を、
布団に入っても
手放せない
30%

ネット依存
傾向の
状況

家庭内ルール(例)

一緒に話し合ってみよう。

- ・夜〇時以降は利用しない。
- ・充電は家族がいる場所で行う。
- ・名前、顔写真、電話番号、住所などの個人情報を書き込まない。
- ・知らない人からのメールやメッセージには返信しない。
- ・ネットで知り合った人と実際に会わない。
- ・人が嫌がることを書き込まない。
- ・心配なことがあったら一人で悩まず、すぐに大人に相談する。

9月14日(月)に生徒会役員改選が行われ、11月より新執行部が開始しました。新役員の6名を紹介します。

生徒会長
副会長
書記局長
書記
会計

吉永 若松 悠太 普二
永 萌 音 普二
美 島 海 正 普二
田 辺 勝 海 普二
中 谷 巴 音 普二

生徒会長あいさつ

このたび、生徒会長を務めさせていたくになりました。吉永 萌音です。

今年度の生徒会執行部は、前年度の役員が1人もおらず、6名全員が初めての生徒会執行部役員ということとなります。分からないことや不安なこともたくさんあると思いますが、さらに良い喜界高校を創るために自分たちで考え、

精一杯頑張りたいと思います。また、皆さんの意見を多く取り入れるべく意見箱の設置場所を従来の生徒会室から入口のロビーなどに、皆さんの投函しやすい場所に変更したいと考えていますので、要望などがありましたら気軽に書いてください。

生徒皆さんの協力なしでは学校をよりよくすることができないので、積極的に生徒会活動にご協力よろしくお願いします。



地区大会 結果報告											
地区大会											
サッカー部											
喜界	1-2	奄美	喜界	3-1	徳之島	喜界	0-6	沖永良部	喜界	0-4	古仁屋
バドミントン部											
男子個人ダブルス 予選敗退											
男子個人シングルス 予選敗退											
女子個人ダブルス 予選敗退											
女子個人シングルス 予選敗退											
男子ソフトテニス部											
団体戦 2位											
個人戦											
相良・福山組 決勝トーナメント ベスト8											
岩崎・今井組 決勝トーナメント 1回戦敗退											
川口・基組 チャレンジトーナメント ベスト4											
女子ソフトテニス部											
団体戦 2位											
個人戦											
喜界 1-2 大島											
喜界 3-0 奄美											
喜界 3-0 古仁屋											
市山・黒田組 決勝トーナメント 第3位											
梅田・俊原組 決勝トーナメント ベスト8											
勝・中谷組 決勝トーナメント 初戦敗退											
長峯・西原組 決勝トーナメント 優勝											
市山・黒田組 初戦敗退											
男子バスケットボール部											
喜界 39-32 大島B											
喜界 61-48 徳之島											
喜界 77-37 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北											
喜界 37-84 古仁屋											
男子バスケットボール部											
喜界 37-84 奄美											
喜界 100-42 大島北</											



創立記念講演会

11月6日（金）、永山高氏（一般社団法人鹿児島県天文館総合研究所）「〇〇〇〇理事長」を講師としてお招きし、「世界一の喜界島をつくるための3つの方法」というテーマのもと、興味を惹きつける話を熱く語っていただきました。また、本校卒業生である夏目淳一氏（喜界町役場企画観光課）をコメンテーターとして迎え、講師と議論を深めていただき、在校生に対する期待や思いを伝えてもらいました。生徒たちの感想の一部を紹介します。

今日の講演を聴き、目標に向けて本気になりたいと思いました。私は愛する喜界島のために貢献することを目指していますが、それは島のためよりも、自分のためであることに気づかされました。島民の方々の役に立たれたら、私はやりがいを感じられ、自分の心は嬉しくて幸せな気持ちに満たされます。これからも、仕事でもプライベートの時間でも自分がやりたいことをやる大切さを忘れな

71回 体育大会

9月6日（日）に予定されていた喜界高等学校「第71回体育大会」が台風と降雨のため、9月9

日、10日に開催されました。今年度は「才華爛熳々咲き誇れ！一人一人の才能の華」このスローガンには、コロナ渦の中一人一人がでることをやりきろう！という思いが込められています。9日は、午前中から天気が安定せず、相撲体操、八月踊り、フォークダンスのみしかできませんでした。10日も天気が安定することなく、ムカデ競走、綱引き、心一つに、応援演技のみとなりました。すべての種目をこなすことができず、不完全燃焼なところもあったとは思いますが、各学年一致団結し、笑顔で精一杯取り組んでいる姿がいつも以上に輝いて見え、記憶に残る体育大会となりました。

応援してくださりました御来賓、保護者の皆様にも感謝申し上げます。来年度は晴天のもとに、更に飛躍した喜界高校をお見せできるよう生徒・職員一丸となって取り組んでいきたいと



思いますので、応援のほどよろしく願っています。

応援団長コメント

緑軍団長（普3）平 勇弥斗

私は、体育委員長でもあり、緑軍応援団長でもあったため、責任をもって体育大会を成功させたいと思っていました。天候に恵まれず延期となり、縮小した形での開催となりましたが、体育科の松元先生をはじめとした先生方、本通りの開催ではなかったにもかかわらず、限られた時間の中で一生懸命取り組み、楽しんでいる姿に感動しました。

3年生にとっては、最後の体育大会でした。競技の部、応援の部でも優勝でき、一生忘れられない最高の思い出になりました。本当にありがとうございました。これからも喜界高校のみなで一丸となって何事にも全力で取り組み、思いきり楽しんで、たくさん思い出を作っていきたいと思います。



35回 祭 格樹

10月4日（日）に第35回格樹祭が開催されました。今年は新型コロナウイルスの影響により、日程変更や

来校者の人数制限等、例年通りにならない点が多々ありました。しかし、その中でも、生徒達は「僕らの絆はソーシャルディスタンスじゃたもてない！」のテーマの元、現状で実現出来る最高の格樹祭をつくり上げてくれました。

エイサーに始まり、音楽選択者と美術部のコラボレーションや自主製作映画、コミカルな演劇等、多様な舞台発表やアイデアと工夫の光る展示の数々を来校者の皆様に堪能していただけたと思います。

職業理解ガイダンス

いようにしたいです。また、「やり方を変えなければ未来は変わらない」という言葉が強く印象に残っています。今まで通りのやり方では現状維持に過ぎず、別のやり方を見つけ進歩していかなければならないということにも気づかせてくれました。今、本気で目指しているこの目標を自分の力で達成できるように頑張ります。（3年生 女子）

永山先生のお話で「なぜを追求する」ということがとても印象に残りました。私は、高校卒業後は大学進学を考えています。法学部を志望しているのですが、確固とした夢はなく、法律や政治、社会科学分野について学ぶことが好きだからという理由です。なぜその大学のその学部なのか、大学卒業後はどうなりたいかと突き詰められると自信を持つて答えることができず、大学で色々なことを学びながら将来の夢を決めたいという答えしか出ません。そして今、勉強を頑張っていますが、自分の中では大学に受かることがゴールのような感じがしています。ですが、そう思うのではなく、大学在学中、あるいは大学卒業後のことを考えて「なぜ勉強を頑張るのか」「なぜその大学のその学部に進みたいのか」という問いに自信を持つて答えられるような夢を見つけていきたいです。志望校に行けなかったとしても、永山先生がおっしゃっていた「過程が一生の財産」と言えるぐらい勉強します。勉強をし、本気になっていたら絶対に後悔はしないからです。そして夢を語り「なぜ」を考える仲間を応援し、今、この瞬間から本気になれる人になりたいです。（3年生 男子）



今回、私はアナウンサーと銀行員の仕事について話を聞いて、鹿児島県、喜界島で働きたいなと思います。

そして、一丸となって格樹祭を成功に導いた実行委員の皆さん、本当にお疲れ様でした。一人一人が力を合わせて考え、行動してくれたことで、例年以上の盛り上がりとなりました。何かを創り上げることの楽しさと難しさを実感してくれたことだろうと思います。

また、ご協力いただき、人数制限等にもご理解いただいたPTAや地域の方々、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

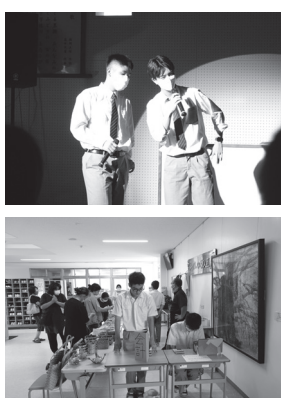
実行委員長コメント 格樹祭実行委員長（普3）中島 志葉

今年度の格樹祭は、コロナの影響で開催日が予定より早くなり、準備期間が短い中でしたが、実行委員会を中心に学校全体で一致団結し、「僕らの絆はソーシャルディスタンスじゃたもてない！」というテーマにふさわしい格樹祭になったと思います。

また、各クラスや委員会、部活動などの舞台発表や展示作品も充実した内容で、学校中に明るい



声が響き渡っていました。大きな規模ではありませんでしたが、喜界高校ならではの文化祭を創りあげることができたと思います。この経験を生かし、学校全体で様々なことに挑戦し、喜界島を盛り上げていけるよう頑張るので、これからもよろしく願っています！

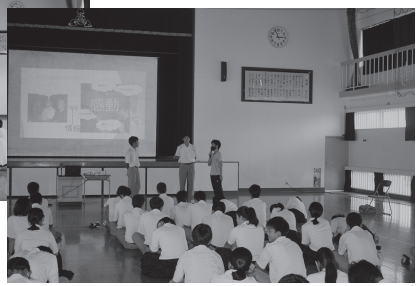


いしました。アナウンサーの岡本さんの話を聞き「ポジティブ」に一生懸命自分の夢に向かって諦めずに頑張ろうと改めて確認できました。支店長の愛甲さんのお話には、普段は分からない銀行の仕事などについて詳しく知ることができました。そして、自分も人の役に立ち、この島に貢献できるようにしたいと思いました。（2年生 女子）



《総合的な探究の時間の取り組み》 ～ふるさと喜界島に学ぶ～

本校では、毎週火曜日にがじゅまるの時間がある。これは、総合的な探究の時間を本校ではがじゅまると名称し、探究型の教育の強化を目指している。現在1年生では、喜界島を再発見してもらうために、さまざまな分野の方々の講演を聴いている。これまで、観光物産協会の方による観光の魅力、サンゴ研究所の方によるサンゴのことや調べ学習と課題研究の違い、役場の方々からは、喜界島の現状とこれから懸念されること、そして現在役場で実



施していることなど、5つの課の方々から話をし頂いた。また、埋蔵文化財センターの方には、歴史的にみた喜界町の魅力を講演して頂き、喜界島言語文化保存会の方からは、喜界島の「しまゆみた」の主な特徴や危機的状況などをお話して頂いた。今後は、これまでの講演を振り返り、調べ学習を通して、生徒1人1人がテーマ設定をし、2年生からの探究活動につなげていく予定である。まだまだ、走り出したばかりのがじゅまるの時間ではあるが、生徒たちが自分たちの住んでいる喜界島を愛し、将来的に喜界島のリーダーとして帰郷し活躍する人材となる一助となつて欲しい。（1学年）